

妊娠中のスケジュール ※ご自身で日付を記入して参考にしてください。

週	月/日	定期検診の回数	詳細内容
4	/		● 妊娠届け1,000円※自費 +診察料
5	/		
6	/		
7	/		
8	/	4週に1回	● 初回検査 (B型肝炎、C型肝炎、HIV、梅毒、風疹、サイトメガロ、トキソプラズマ、血糖、貧血、培養検査) 12,000円 ※自費検査含む ● 子宮癌検診
9	/		
10	/		
11	/		
12	/		
13	/		
14	/		
15	/		
16	/		
17	/		
18	/	20週までに	● 産科医療補償制度手続き ● 分娩前金支払い ● 出産育児一時金直接支払制度手続き
19	/	16週～23週頃 前期安産教室 20週～30週頃 助産師外来	
20	/		
21	/		
22	/		
23	/		
24	/	2週に1回	● 中期採血 (貧血・血糖・HTLV・生化学) + 培養検査 (クラミジア) ※公費負担 (約5,000円) 28週頃～35週まで 後期安産教室
25	/		
26	/		
27	/		
28	/		
29	/		
30	/		
31	/		
32	/		
33	/		
34	/		
35	/		
36	/	毎週	● 37週採血 (貧血) ※公費負担 ○ 無痛分娩希望の方 / 必要時採血あり 3,000円 ※自費検査 ● NST検査 3,000円 (必要時) ※自費検査
37	/		
38	/		
39	/		
40	/		★分娩予定日★

《妊娠中に行う検査》

- 貧血：ヘモグロビンなどを測定し、貧血がないか調べます。
- 血糖：ブドウ糖濃度を測り、糖尿病がないか調べます。
- 梅毒：母体が感染していると流産・早産などを招いたりします。感染があれば抗菌薬で治療を行います。
- B型肝炎・C型肝炎：ウイルスによる感染の有無を調べます。陽性の場合には出産時に赤ちゃんに感染することがあるので精密検査を行います。
- HIV：感染が確認されたら拠点病院で妊娠・分娩管理を受けます。
- 風疹：妊娠初期に感染すると赤ちゃんに目の疾患や難聴などを起こすことがあります。
※抗体価16以下の場合産後予防接種をお勧めします。
- サイトメガロウイルス：至る所にあり誰でも一度は感染するウイルスです。妊娠中に母体が初めて感染すると赤ちゃんに影響することがあります。
- トキソプラズマ：生肉や猫のフンなどから感染することがあります。妊娠中に初感染すると赤ちゃんに影響することがあります。陽性の場合には妊娠中から治療を行います。
- 成人T細胞白血病ウイルス (HTLV-1)：母乳により感染することがあります。陽性の場合には母乳哺育について医師と相談しましょう。
- クラミジア：赤ちゃんが産道を通るときに感染し、結膜炎、肺炎などを起こします。陽性の場合には抗菌薬を服用します。パートナーの検査も行いましょう。
- B群溶連菌 (GBS)：10～30%の妊婦から検出されます。陽性の場合、赤ちゃんへの感染を防ぐため分娩時に抗菌薬を投与します。
- NST (ノンストレステスト)：お腹の張りとお腹の赤ちゃんの心拍をキャッチするセンサーを装着します。
(所要時間：40分程)



2024.12.26